

デジタル社会におけるビジョンを目指しつつ、重点取組事項を踏まえた取組を通じて、2025年度までに町民・行政・地域にとっての取組目標の達成を目指します。

《上里町がデジタル社会において目指す姿（ビジョン）》

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができる、多様な幸せが実現できる社会 ～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

国の「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針（令和2年12月25日閣議決定）」に同じ

## 2025年度までの取組目標

### 目標1

町民にとっては、  
分かりやすく使いやすい  
行政サービスと  
満足度の向上

### 目標2

行政にとっては、  
デジタル&  
データ活用による  
行政運営の効率化

### 目標3

地域にとっては、  
社会変化に対応する  
地域社会の  
デジタル化の推進

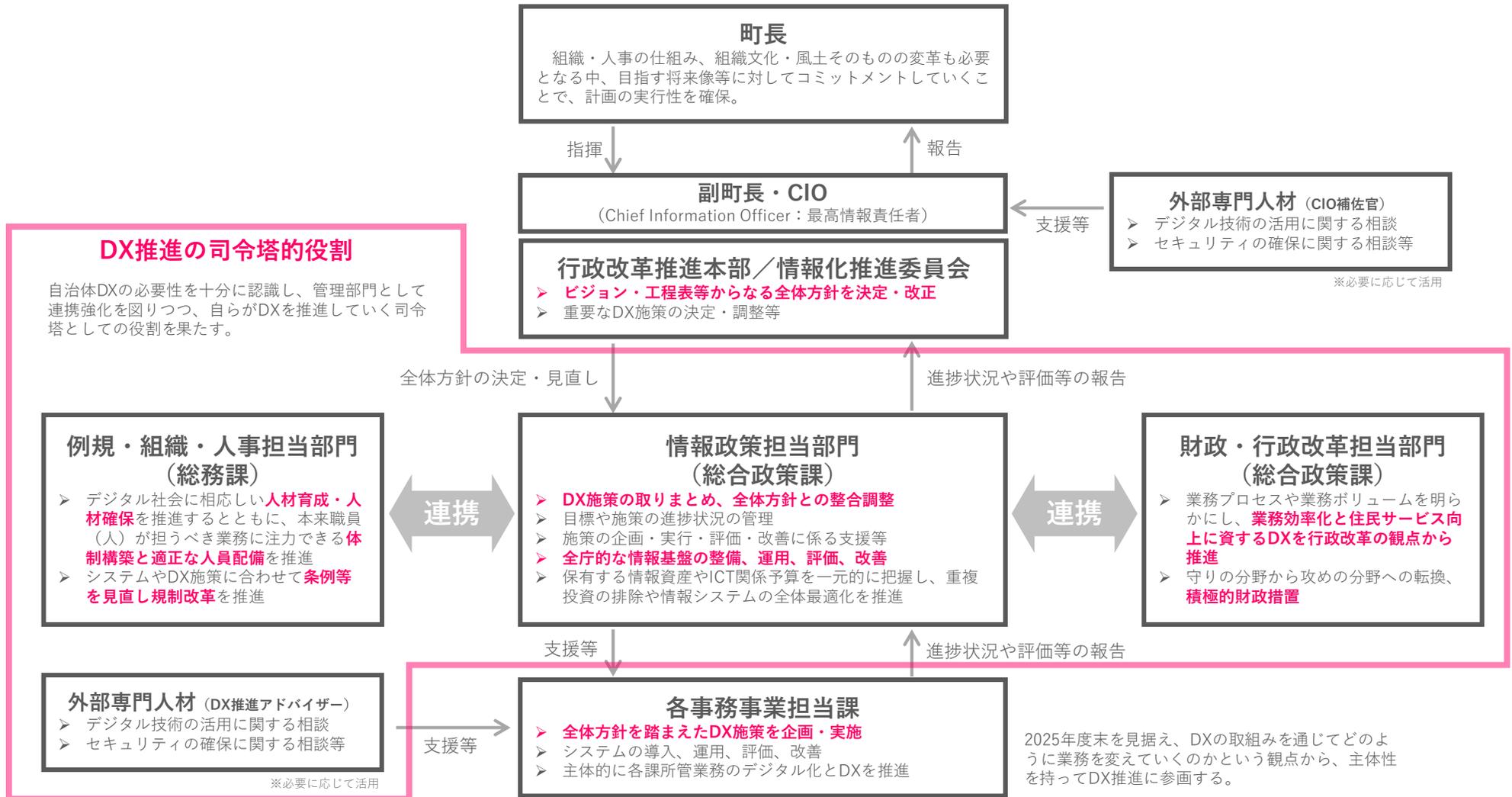
※社会経済・環境変化を分析し継続的取組を通じてビジョンの実現を目指す

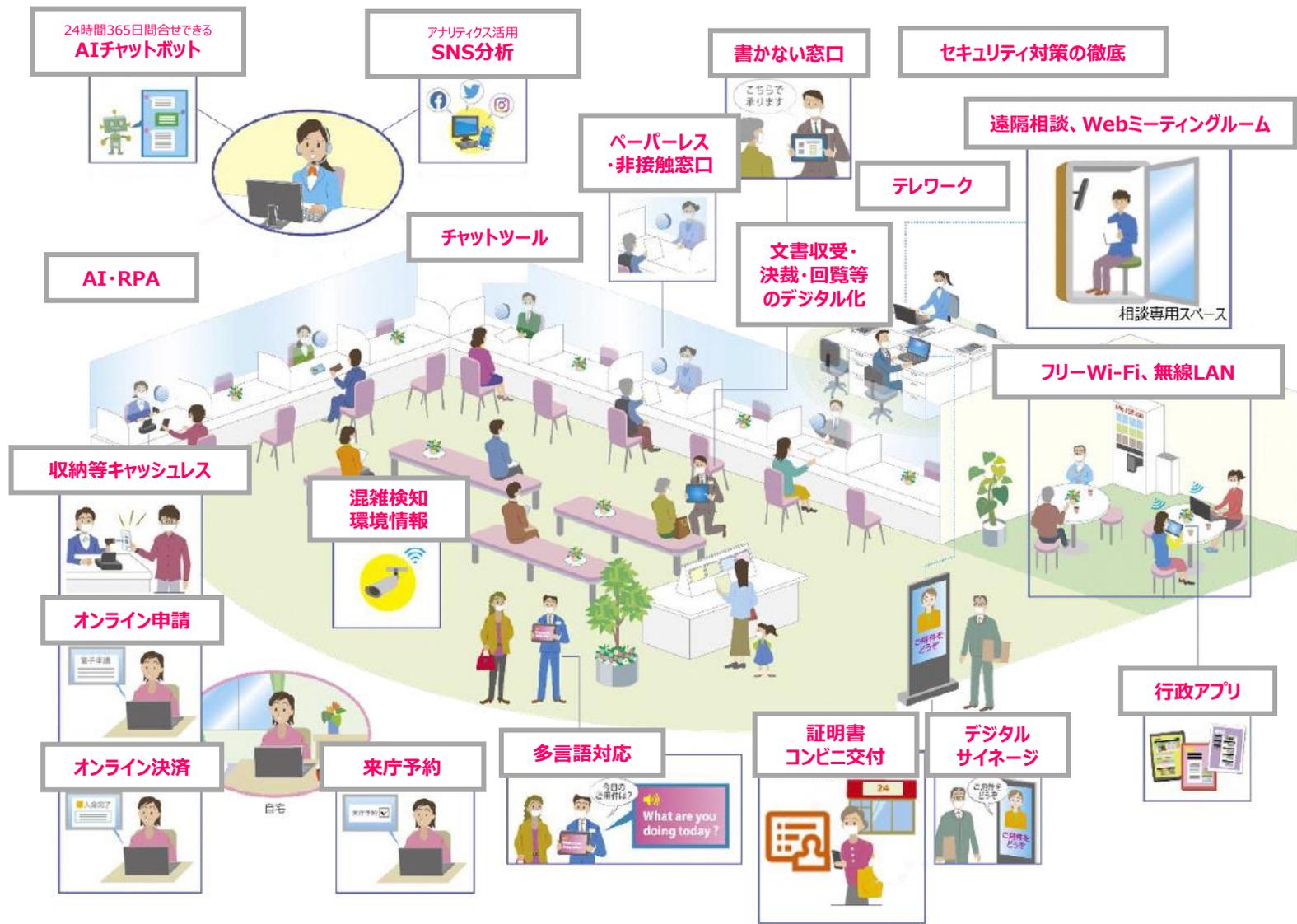
## 重点取組事項

- 情報システムの標準化・共通化
- マイナンバーカードの普及促進
- 行政手続のオンライン化
- AI・RPAの利用促進

- テレワークの推進
- セキュリティ対策の徹底
- 地域社会のデジタル化
- デジタルデバイド対策

町長・幹部職員が変革への強いコミットメントを持ち**全庁的にDX推進**に取り組みます。  
また、管理部門である**総務課・総合政策課**が連携を図り**DX推進における司令塔的役割と責任を果たします。**





【※上記の取組イメージはあくまでも例示であり、全ての取組の実施が計画されているものではありません。】

# 計画の工程表

取組事項		2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	参考・備考
<b>BPRの取組みの徹底</b> <small>※全ての重点取組事項に共通する取組</small>		チャットツールの導入・活用等 ペーパーレスの推進	業務量の見える化・課題の洗い出しと業務改善 ペーパーレスの更なる推進				
1	<b>情報システムの標準化・共通化</b>	標準準拠システムへの移行とガバメントクラウドへの移行					<b>【国のKPI】</b> 令和7年度までに全ての自治体が移行
2	<b>マイナンバーカードの普及促進</b>	マイナンバーカードの交付促進	マイナンバーカードの更なる交付促進 証明書コンビニ交付サービスの開始 「書かない窓口」サービスの開始 マイナンバーカードの多機能化・多目的利用の検討 「書かない窓口」サービスの拡大				<b>【国のKPI】</b> 令和4年度までにほぼ全ての国民がマイナンバーカードを取得
3	<b>行政手続のオンライン化</b>	子育て・介護・被災者支援関係手続のオンライン化	オンライン手続の拡大の検討 スマート申請サービスの開始				<b>【国のKPI】</b> 令和4年度までに子育て・介護関係等手続はオンライン化
4	<b>AI・RPAの利用促進</b>	AI会議録システムの導入	AI・RPA活用の検討				
5	<b>テレワークの推進</b>	自治体テレワークシステムの一時的利用	テレワーク環境の整備 テレワークの推進 文書收受・決裁及び庶務事務のデジタル化				
6	<b>セキュリティ対策の徹底</b>	新たな強靱化モデルへの対応 (インターネット利用環境の拡充等)	自治体情報セキュリティポリシーガイドラインへの対応 (職員研修等も実施)				<b>【国のKPI】</b> 令和4年度までに新たな強靱化モデルに対応
7	<b>地域社会のデジタル化</b>	地域キャッシュレス推進事業 オープンデータの推進					
8	<b>デジタルデバйд対策</b>	情報発信チャンネルの多様化とコンテンツの充実 デジタル利用者支援事業の実施 (スマートフォン、PC等)					